



令和6年度羽田中学校だより

天空の橋

令和6年4月12日

目指す生徒像・・・

Heart

Never Give Up

Do Our Best

大田区立羽田中学校

学校としての理想、向かうべき方向

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

短い春休みでしたが、充実した生活を送れたでしょうか。新しい学年になって、皆さんの頭の中には、今年度どのようにすごしたいかを想像しているのではないかと思います。特に、3年生は、1年後の自分の姿をイメージして、どのように、この1年をすごすか考えているのではないかと思います。成長した自分の姿を想像し、それに向かって努力することは、とても大事なことです。しかし、「成長した自分の姿」がイメージできるためには、どのような状態が自分にとってよい状態なのか、理想なのか、考えられていなければなりません。ぜひ、自分の理想を考え、実現できるように努力しましょう。応援しています。

さて、今「自分の成長した姿」がイメージできるか、という話をしました。つまり、個人の話です。今日皆さんにお話しし、お願いしたいのは、「自分」だけではなく、皆さんが所属する社会の成長した姿をイメージできるようにしてほしいということです。皆さんが所属するのは、学校でいえば、部活動、クラス、学年、羽田中学校そのものです。この1年間で、自分のクラスをどのようにしたいか、自分の学年をどのようにしたいか、羽田中学校をどのようにしたいかをぜひ考え、それを実現するように努力してほしいのです。

先ほど新しいクラスが発表されました。きっと、一緒になってうれしい友だちもいれば、ちょっと苦手だなあという人もいると思います。では、クラスとしてみんなが楽しくすごすためには、クラスとして何をすればよいでしょうか。そんなことを考えてほしいのです。多くの場合、苦手な人がいると、嫌なことをその人のせいや、クラスのせいにして、「もう、最悪のクラス。本当嫌！」しかし、誰かのせいにしても、よいクラスにはなりません。担任の先生は、みんながすごしやすいクラスにするため、いろいろと考えますが、結局は自分たちで「楽しくしよう」と動き出さなければ楽しくはなりません。あるいは、「嫌なことを言う雰囲気がある、つまりいじめが起きやすい状態」のとき、「〇〇中はひどい」などと、学校がひどいという言い方をしたりします。そうなのかもしれません。でも、それを言ったからといって、〇〇中がよくなるわけではありません。先生も含めて、みんながよい状態をつくるしかないわけです。ぜひ、自分たちのクラス、学年、そして学校をどのようにしたいか考えてください。理想的な状態はどのような状態か考え、それが実現するよう努力してください。

学校の楽しさは、結局、部活動、クラスや学年など所属している集団がよいかどうかで、その多くが決まります。それを自分たち自身でつくるのです。楽しい学校生活を送れるようにするためには、誰かに期待するのではなく、自分で動くことが大事なのです。もちろん、学校、先生たちもそれが実現できるよう努力します。皆

さんが真剣に考え、実現できる場がなければ、理想を考えても意味がないでしょう。それは、先生たちが生徒を支配している学校です。そうではなく、皆さんが考えたことを実現できる場をできるだけ先生たちはつくる努力をします。先生が生徒を支配するのではなく、生徒自身が社会を形成するのを応援する学校です。

子ども基本法という法律があります。その中には、次のように書いてあります。

全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

「こどもは自分の意見を言っていよいよ」「大人はその機会をつくるよ」ということです。この法律のように、その機会がある学校にするとということです。

具体的にいきます。先生たちの目標です。今年度、この1年間のうちに、「校則を変えることができる学校にしたい」と思っています。「校則を変える」ではありません。「校則を変えることができるようにする」です。その違いがわかるでしょうか。先生が「校則を変える」ではありません。先生が校則を変えてしまうと、皆さんにとってよくもなれば、悪くなる可能性もあります。先生が勝手に「ツーブロックがよし」と決められるのなら、逆に先生が勝手に「男子は坊主、女子はおかっぱ」と決めることもよしということになります。これは、さきほどの「先生が生徒を支配している学校」です。もし、「先生は生徒の言う通りに校則を決めなければいけない」「生徒の思い通りに決まらなければ文句を言う」というのであれば、それは先ほどの逆の「生徒が先生を支配する学校」になります。「先生が生徒を支配する」のも、「生徒が先生を支配する」のもいいわけがありません。そうではなく、生徒の理想、生徒の意見と、先生の意見、保護者の意見、地域の方の意見などがきちんと検討され、多くの人にとっての理想、みんなで考えた末での理想により校則が決まっていく状態での学校をつくるのです。そのため必要なのは、

- 生徒が意見を言えるようにすること。
- 意見を言う場がつくられていること
- 誰か一人の意見や、声が大きい人の意見で決まるのではなく、いろいろな意見がきちんと検討される状態がつくられること。

また、決まったことを、自分たちで守ることも必要です。決まったことを守るつもりがなければ、「自分たちで決める能力がない、まだ早い、決めることに参加させることはできない」となってしまうからです。

今年度、自分たちで自分たちのことを考える機会をつくります。

- ・学級会をできるだけ行います。
自分たちのクラスを、自分たちで生活しやすくしましょう。
クラスをよりよくするための企画を考えましょう。
- ・学年の活動も、ぜひ自分たちで考えましょう。
どのような企画をするかも、ぜひ考えてください。
- ・学級委員は、ぜひその中心になってください。
- ・学校のことを、生徒自身が考える機会をつくります。
どのような学校が理想か、理想とする学校を実現させてください。
- ・生徒会総務は、ぜひその中心となってください。

結果として、よりよい学校、みんなが来たくなる学校、みんなが楽しい学校、自分たちで作った学校となったらこんなうれしいことはありません。

年度当初ということで、皆さん個人個人だけでなく、学校としての理想、向かうべき方向の話をしました。今年度、どこまでできるかはわかりません。でも目指すべき方向は、みなさんと共有したいと思っています。

みなさんの協力が必要です。よろしくお願いします。